

## ■ 概要

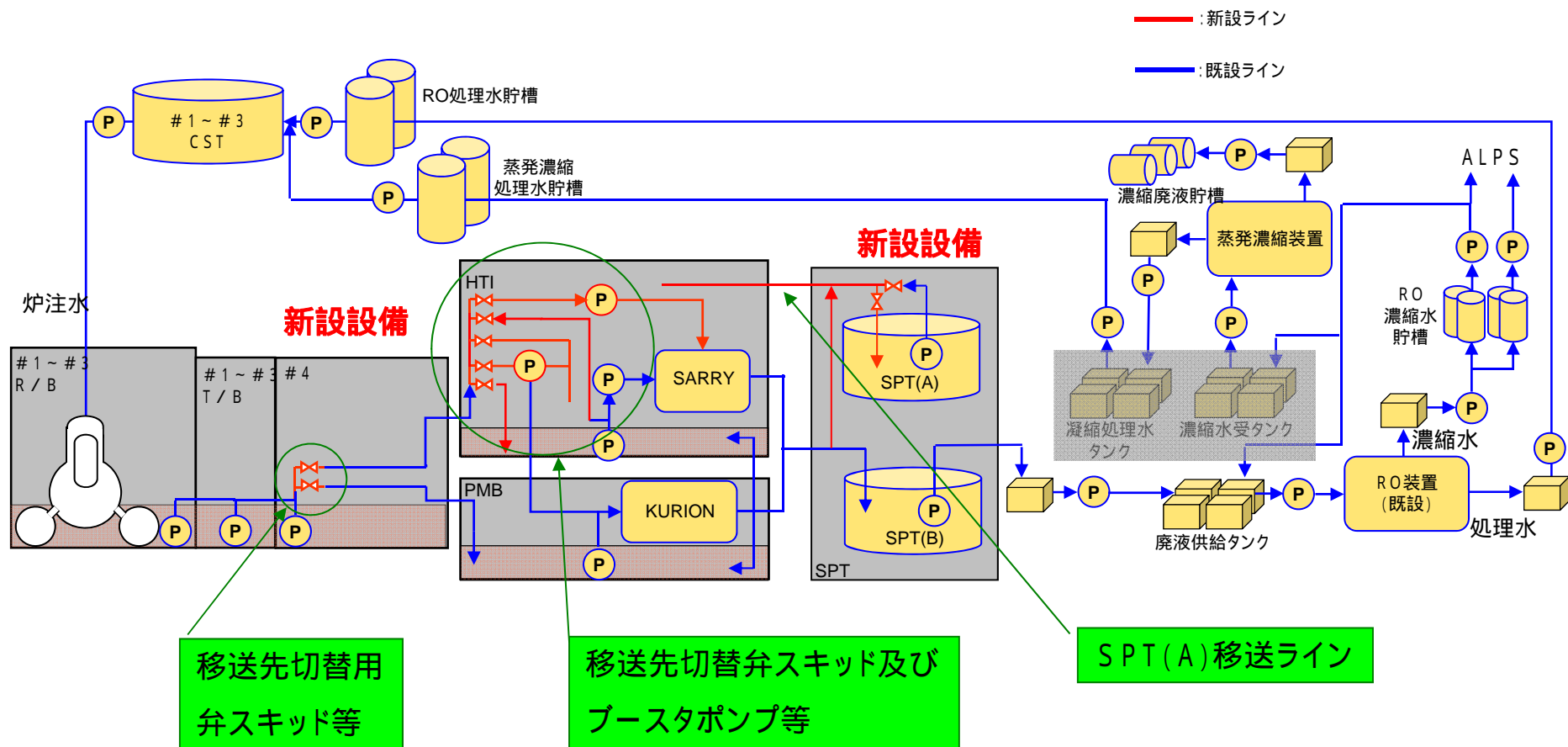
現状、タービン地下滞留水は、一旦集中廃棄物処理建屋(プロセス主建屋(PMB)および高温焼却炉建屋(HTI))地下に貯留し、各処理装置にて核種の除去を行っているが、高濃度汚染水を集中廃棄物処理建屋地下に貯留するリスクを低減する目的で、以下の工事を行う計画。

タービン地下滞留水を各処理装置へ直接移送する系統の設置

プロセス主建屋および高温焼却炉建屋地下に代わる貯留場所としてサプレッションプール水サージタンク(A)(以下、SPT(A)タンク)を利用するための移送系統の設置(必要に応じて利用)

SPT(A)タンクの滞留水を処理装置(セシウム吸着装置)へ移送し、主要核種を除去するための系統の設置

# 2 - 1. 設備概要



## < 主な新設設備 >

- 滞留水を処理設備へ直送する設備。
- 滞留水をSPT(A)へ移送する設備。
- SPT(A)の滞留水を処理装置へ移送する設備。

ここで、主要機器は、弁スキッド、ブースタポンプ、配管で構成し、主に4号機タービン建屋とHTI建屋に設置する。